

ドラマ・シリーズ「チーム・メヂカル・ドラゴン」における  
集団意識の分析  
(文学人類学アプローチを通して)

ファリアン フアウスタ  
0542027



マラナタクリスト教大学  
文学部日本文学科  
バンドン  
2010

# ドラマ・シリーズ「チーム・メヂカル・ドラゴン」にみける

## 集団意識の分析

(文学人類学アプローチを通して)

### 序論

日本は近代的な先進国である。国際化時代が叫ばれる中、日本は中こくから  
さえざえな文化を採り入れるが、昔より深く根付いた自己の文化を以前として守  
っているのである。

社会生活を常むにおいて、日本人は集団の役割を重要視しているのである。本  
論文では、日本人にとって集団というものが何であるか、之にこの秩序を逸脱する者  
がいればというなるかを分析する。分析に当たってはドラマ・シリーズ「チーム・メ  
ヂカル・ドラゴン」を使い、文学人類学を以てする。

### 本論

周知のように、以前、日本は農業国であった。農業であるため、国民の大部分  
は農業に携わる農民に古められているのである。仕業に当たり農民は相互扶助という  
概念大事にするのである。この相互扶助から農家間の家族的な関係が生まれてきたこ  
のである。之に、課俗な関係に基づく社会生活を教える儒教が中国から入ってきてと  
き、自己の生活様式に合うため、このような関係は日本の社会にみて益々強くなっ

てきたのである。

現在でもこの集団意識は、会社など、昔とある程度異なつてものが出来上がっているのである。もちろん、この集団にも上下関係に守られているのである。

以下に、ドラマ・シリーズ「チーム・メヂカル・ドラゴン」の主人公、朝田竜太炉に焦点を絞って、彼は集団においていかなる行動を取っているか、之にその結果、彼にいかなることはふりかかるかを集団意識から見てみる。このドラマは、朝だ竜太炉は個人主義者であり、先輩・後輩の関係を無視する人間として描かんでいる。以下に彼が、集団意識年功序列に反した行動の例を挙げ、そのため、それが彼にいかなる結果もたらすか記す。

- ✓ 朝田竜太炉が、許可なく手術の権限を引き継ぐシーン。その行動のため、彼は同僚に嫌われ、村八分にされるのである。
- ✓ 加藤秋医師と朝田竜太炉との、「過去の朝だ竜太炉の」談話にみける彼の上司の指示に従わないこと。そのため、彼は日本の医学界から村八分される。
- ✓ 以前のシーンと比べ、朝田竜太炉が個人主義を重要視しなくなり、集団意識を重んじるようになること。彼の主導しにバチスター・チームが、加藤秋医師の存在扱までは、成り立たないということを述べる。

## 結論

- ✓ 日本の社会にみいて集団意識は社会生活を営みにみいて重要なものである。
- ✓ 集団という秩序になした場合、その人は、社会から排斥されることになる。
- ✓ このような社会では、個人は集団の秩序を重んじなければならないのである。

## DAFTAR ISI

LEMBAR PENGESAHAN.....	i
KATA PENGANTAR.....	ii
DAFTAR ISI.....	iv
BAB I : PENDAHULUAN.....	1
1.1    LATAR BELAKANG MASALAH.....	1
1.2    PEMBATASAN MASALAH.....	5
1.3    TUJUAN PENULISAN.....	6
1.4    METODE PENELITIAN (PENDEKATAN ANTROPHOLOGI SASTRA).....	6
1.5    ORGANISASI PENULISAN.....	8
BAB II : KESADARAN BERKELOMPOK MASYARAKAT JEPANG.....	10
2.1    ASAL 集団意識 (KESADARAN BERKELOMPOK) DALAM MASYARAKAT JEPANG.....	10
2.2    PENTINGNYA 集団意識 (KESADARAN BERKELOMPOK).....	12
2.3    集団意識 DALAM PERUSAHAAN.....	20

**BAB III : KAJIAN MASALAH BERDASARKAN SERIAL TEAM MEDICAL DRAGON 25**

3.1	TINDAKAN ASADA RYUUTARO YANG MENENTANG PERINTAH ATASAN.....	25
3.2	TINDAKAN ASADA RYUUTARO YANG INDIVIDUALISTIS.....	38
3.3	PERUBAHAN YANG TERJADI DALAM DIRI ASADA RYUUTARO	52
	<b>BAB IV : KESIMPULAN.....</b>	<b>56</b>

**SINOPSIS**

**DAFTAR PUSTAKA**

**LAMPIRAN**

**BIOGRAFI PENULIS**